令和５年度コミュニティ・スクールふくま　学校だより　５月号プラス

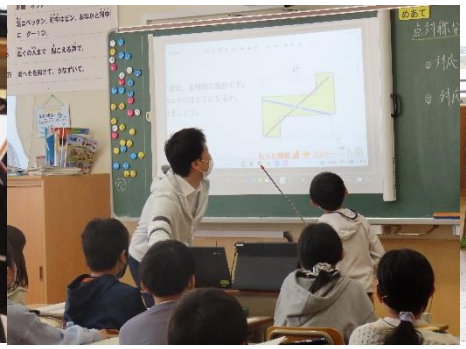
諏訪の杜っ子

令和５年５月８日(月)
福津市立福間小学校
文　責　　校　長

あいさつ，なかよし，がんばりを大事にする子の育成

ふくまっ子が　生きていく未来は　［その２］

変化の激しい未来を生きる子供達。令和３年１月には中央教育審議会から新しい時代の教育の在り方について答申が出されました。（「令和の日本型学校教育の構築を目指して」）　答申で



は学習指導要領をふまえ，子供達に必要な学びの姿が次のように記されています。

○ 児童が自分の興味や関心に応じて目標を立て，取り組みの方法や内容を考え学習を進めていく（個別最適な学び）
　→　自分の目標に向け，学習を深め，広げる
○ 友達や地域の方々と関わり合いながら互いを尊重し目標達成を目指す（協働的な学び）
　→　異なる考え方が組み合わさり，よりよい学びを生み出す

自分で問題点を探り身に付けている知識や技能を使って問題の解決を目指したり，友達と考えを出し合い互いに納得できる方法を探っていったりする力が必要だということです。

そこで，「予測困難な時代」の中「主体的に」課題に向かう力を育成するために，本校では次のことを進めていきます。

１　主体性を高める授業
興味，関心，意欲を高める工夫，協働して解決方法を探る児童間の対話や GT との交流機会の設定，自分の伸びや課題をつかむ授業後の振り返り

２　子供の主体性を育てる評価
目標をもって学習（生活）に向かう取り組み，子供が自分の成長を実感する評価の工夫
※　個人懇談では，お子さんが目標を宣言します。是非，応援の言葉かけをお願いします。